



第 20 回 AEM+3 会合
2017 年 9 月 10 日 パサイシティ フィリピン

共同声明（仮訳）

1. 10 の ASEAN 諸国と中華人民共和国（「中国」）、日本、大韓民国（「韓国」）の経済大臣は、2017 年 9 月 10 日、フィリピン、パサイシティにて第 20 回 ASEAN+3 経済大臣会合 のために顔をあわせた。会合は、フィリピンのラモン・ロペス 貿易産業大臣、中国の王受文（ワン・ショウウエン） 副部長、日本の世耕弘成 経済産業大臣、及び韓国の金鉉宗（キム・ヒョンジョン）産業通商資源部通商交渉本部長の共同議長により執り行われた。
2. +3 の閣僚は、ASEAN の地域統合の歴史的な節目となる設立 50 周年を迎えた ASEAN の閣僚に対し、祝意を表明した。閣僚は、また、1997 年に設立され、様々な分野で拡大し、深化してきた ASEAN+3 協力の 20 周年について記念した。閣僚はより開かれ、包摂的で、弾力性があり、繁栄した地域にむけ、より緊密に協働すべくコミットすることを表明した。
3. ASEAN+3 のプロセスの設置により、2016 年には ASEAN や+3 諸国間の貿易・投資関係の実績が良好な結果となったことを閣僚は言及した。ASEAN と+3 諸国間の全商品取引は 6942 億 US ドル、ASEAN の全取引量の 31%となった。+3 諸国から ASEAN への FDI フローは 291 億 US ドルと推定され、これは、ASEAN への全 FDI フローの 30.1%を占めた。
4. +3 諸国は AEC ブループリント 2025 の下での ASEAN の経済統合の進捗を賞賛し、ASEAN の経済統合を深化させるため、+3 諸国によってさらなる協力の取り組みがなされることを確認した。この文脈の中で、閣僚は経済統合を促進するための ERIA の活用についても議論した。

5. 閣僚は、+3 の協力枠組みの中で実施されるプロジェクトや活動の進捗について言及した。閣僚は、ASEAN+3 各国間の経済協力を強化するため、さらなる作業を行う必要があることに同意した。閣僚は、中国のサプライチェーンコネクティビティ向上に関する提案を含めた、貿易と投資を促進するいくつかの提案に言及し、より強い ASEAN+3 協力のための幅広い目標を定める経済協力作業計画とともに、これらの提案を成果物として検討し、2017 年 11 月の第 20 回 ASEAN+3 サミットまでに報告するよう事務方に命じた。
6. 閣僚は、東アジア商工会議所(EABC) による「E コマースと RCEP を通じた中小企業の包摂的な発展」をテーマとした活動の進捗に関するレポートに言及した。閣僚は、EABC の地域の中小企業支援の継続的な取り組みについて歓迎した。この取り組みは、中小企業がデジタル取引によってもたらされる機会を捉え、ビジネスの新たな道を発見することを支援するとともに、中小企業の RCEP 交渉への参加を促進するためのものである。閣僚は、加えて、EABC の重要な役割についても確認した。閣僚は JETRO や JCCI のサポートの下に EABC によって実施された E コマース調査の政策提言を歓迎した。閣僚は ASEAN+3 で協力が行われ、E コマースの発展が容易になることへの期待を表明した。
7. 閣僚は日本によって行われた、2025 年万博への大阪の立候補に関するプレゼンテーションを歓迎した。
8. 閣僚は 9 月 21-22 日に韓国、ソウルで開催予定の ASEM 経済大臣会合に関する韓国のプレゼンテーションに感謝した。

参加関係リスト

1. リム・ジョク・ホイ外務貿易省次官、ブルネイ
2. パン・ソラサック商業大臣、カンボジア
3. 鍾山(ショウ・ザン)商務部長、中国
4. エンガルティアスト・ルキタ商業大臣、インドネシア
5. 世耕弘成経済産業大臣、日本
6. 金鉉宗(キム・ヒョンジョン)産業通商資源部通商交渉本部長、韓国
7. ケンマニ・ポンセナー商工大臣、ラオス
8. ダトゥ・スリ・ジャヤシリ国際貿易産業省次官、マレーシア
9. チョウ・ウィン計画・財務大臣、ミャンマー
10. ラモン・ロペス貿易産業大臣、フィリピン
11. リム・フンキャン貿易産業大臣、シンガポール
12. アピラディ・タントラポーン商務大臣、タイ
13. チャン・トアン・アイン商工大臣、ベトナム
14. レ・ルオン・ミン事務総長、ASEAN 事務局